



主題名 一人一人がかけがえのない人間であること

教材名 「ぼくなんか」

人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について 日頃、気付きにくい家族の愛情を、「へその緒」を大切に持っている母の姿から感じ取り、自分は周りの人の愛情を受けながら育てられていることに気付かせたい。

ねらい 自分は、周りの人の愛情を受けながら育てられていることに気付かせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「ぼくなんか」の話を読み聞かせる。	一斉	○「ぼくなんか」の話を聞く。		資料 「ぼくなんか」
展開	へその緒は、私たちにとってどんな役割をしていたのだろう				
	○生まれる前は、お母さんと「へその緒」でしっかりつながっていたことを知らせる。 ○「へその緒」を大切にしているお母さんの気持ちを読み取らせる。	一斉	○「へその緒」について知っていることを発表する。 ○家族が赤ちゃんを大切にしていたことを知る。	○各家庭の事情に十分に留意する。 ○既に、へその緒の働きについて十分知っている場合は、お母さんが様々なことに気を付けながら、妊婦としての生活を送っていることを知らせる。	へその緒でつながっている母子の図など 参考… 「わたしの赤ちゃん」<人権学習資料集小学校編I>
	「あなたの母さんになれて、幸せよ。」と言った母さんは、どんな気持ちだったのだろう				
展開	○「幸せ」と言ったお母さんの気持ちを考え、発表させる。	個別 一斉	○「幸せ」と言ったお母さんの気持ちを考え、発表し合う。	○お母さんの愛情に気付かせる。	
まとめ	ぼくは、この後、どんなことを思ったのだろう				
	○思ったことを発表させる。	個別 一斉	○「ぼく」になったつもりで考え、思ったことを発表する。	○妹とのけんかでお母さんに言った言葉とそれを聞いたお母さんの気持ちに触れるようにする。 ○黒板に吹き出しなどを書き、出た意見を板書する。	
まとめ	○自分も周りの人の愛情を受けて育てられたことを理解させる。 ○家族との関わりを発表させる。	個別 一斉	○家族との関わりを発表する。 ①～してもらったこと ②～して返したこと ③心配をかけたこと ○「家族のみんなへ（父母・祖父母・兄弟姉妹・周りの人等）」という手紙を書く。または、「わたしのこと」という題で作文を書く。	○日頃、気付きにくい周りの人の愛情に気付くようにする。 ○発表から、家族への思いを具体化させて、次の手紙につなぐようにする。	ワークシート

評価 自分は、周りの人の愛情を受けながら育てられていることに気付かせることができたか。